2008（平成20）年度 短期大学認証評価申請用

短期大学基礎データ

岩手県立大学盛岡短期大学部

短期大学基礎データ目次（岩手県立大学盛岡短期大学部）

項目				頁	
Ⅰ　教育研究組織					
	1		設置学科、専攻科等（表１）	1	
Ⅱ　学科・専攻科の教育内容・方法等					
	1		学科の開設授業科目における専兼比率（表２）	2	
	2		国家試験・資格試験合格率（表３）	5	
	3		単位互換協定に基づく単位認定の状況（表４）	6	
	4		卒業判定（表５）	7	
	5		就職・進学状況（表６）	8	
	6		国別国際交流協定締結先機関（表７）	9	
Ⅲ　学生の受け入れ					
	1		学科・専攻科の志願者・合格者・入学者数の推移（表８）	10	
	2		学科・専攻科の学生定員及び在籍学生数（表９）	12	
	3		学科の入学者の構成（表10）	13	
	4		学科・専攻科の社会人学生・留学生・帰国生徒数（表11）	14	
	5		学科の退学者数（表12）	15	
Ⅳ　学生生活					
	1		生活相談室利用状況（表13）	16	
	2		奨学金給付・貸与状況（表14）	17	
Ⅴ　研究活動と研究環境					
	1		専任教員の教育・研究業績（表15）	18	（省略）
	2		専任教員の教育・研究業績（芸術分野や体育実技等の分野を担当する教員）（表16）	19	（省略）
	3		産学官連携による研究活動状況（表17）	20	
	4		教員研究費（表18）	21	
	5		科学研究費の採択状況（表19）	22	
	6		教員研究室（表20）	23	

Ⅵ　社会貢献				
	1		公開講座の開設状況（表21）	24
Ⅶ　教員組織				
	1		全学の教員組織（表22）	25
	2		専任教員個別表（表23）	26
	3		専任教員年齢構成（表24）	38
	4		専任教員の担当授業時間（表25）	39
	5		専任教員の給与（表26）	41
Ⅷ　施設・設備等				
	1		校地、校舎、講義室・演習室等の面積（表27）	42
	2		学科・専攻科等ごとの講義室、演習室等の面積・規模（表28）	43
	3		規模別講義室・演習室使用状況一覧表（表29）	44
Ⅸ　図書館および図書・電子媒体				
	1		図書、資料の所蔵数（表30）	45
	2		学生閲覧室等（表31）	46
	3		図書館利用状況（表32）	47
Ⅹ　財務（私立短期大学のみ）				
	1-1		消費収支計算書関係比率（法人全体のもの）（表33-1）	48
	1-2		消費収支計算書関係比率（短期大学単体のもの）（表33-2）	49
	2		貸借対照表関係比率（表34）	50
Ⅺ　情報公開・説明責任				
	1		財政公開状況について（表35）	51
平成20年度追加表				
	1		全学の教員組織（表22-2）	52
	2		専任教員個別表（表23-2）	53
	3		専任教員の担当授業時間（表25-2）	65

（省略）

（省略）

（省略）

Ⅰ　教育研究組織

1　設置学科、専攻科等（2008年４月１日現在）

（表１）

短　期　大　学　名	学　　科	専　攻・コース	専　攻　科
岩手県立大学盛岡短期大学部 （岩手県岩手郡滝沢村滝沢字巣子152-52）	生活科学科〈1988年４月〉	生活科学専攻〈1988年４月〉 食物栄養学専攻〈1988年４月〉	
	国際文化学科〈1998年４月〉		

［注］１　申請年（2008年）４月１日付で設置している学科、専攻科を記入してください。
２　教養教育科目、外国語科目、保健体育科目、教職科目等を担当する独立の組織、または通信教育課程、別科等がある場合には、学科にならい記入してください。
３　学科や専攻ごとに開設年月日を〈 〉に記入してください。
４　申請年（2008年）度から学生受入を開始、もしくは学生募集を停止、名称を変更した学科や専攻には、〈 〉にその旨を付記してください。
５　申請年（2008年）４月時に完成年度に達していない学科・専攻科には※を、申請資格充足年度（完成年度＋１年）に達していない学科・専攻科には（※）を付記してください。

Ⅱ　学科・専攻科の教育内容・方法等

1　学科の開設授業科目における専兼比率　（2007年度　前期）

（表２）

学　　科				必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
生活科学科	生活科学専攻	専門教育	専任担当科目数（A）	8	7	19
			兼任担当科目数（B）	0	2	5
			専兼比率　％ （A／（A＋B）*100）	100.0	77.8	79.2
		教養教育	専任担当科目数（A）	4	0	9
			兼任担当科目数（B）	1	0	12
			専兼比率　％ （A／（A＋B）*100）	80.0	－	42.9
	食物栄養学専攻	専門教育	専任担当科目数（A）	11	9	23
			兼任担当科目数（B）	1	2	4
			専兼比率　％ （A／（A＋B）*100）	91.7	81.8	85.2
		教養教育	専任担当科目数（A）	4	0	9
			兼任担当科目数（B）	1	0	12
			専兼比率　％ （A／（A＋B）*100）	80.0	－	42.9
国際文化学科		専門教育	専任担当科目数（A）	5	0	23.5
			兼任担当科目数（B）	0	0	17.5
			専兼比率　％ （A／（A＋B）*100）	100.0	－	57.3
		教養教育	専任担当科目数（A）	0	0	3
			兼任担当科目数（B）	1	0	5
			専兼比率　％ （A／（A＋B）*100）	0.0	－	37.5

1　学科の開設授業科目における専兼比率　（2007年度　後期）

（表２）

学　　科				必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
生活科学科	生活科学専攻	専門教育	専任担当科目数（A）	8	4.5	15.5
			兼任担当科目数（B）	2	1.5	10.5
			専兼比率　％ （A／（A＋B）*100）	80.0	75.0	59.6
		教養教育	専任担当科目数（A）	3	0	7
			兼任担当科目数（B）	0	0	7
			専兼比率　％ （A／（A＋B）*100）	100.0	－	50.0
	食物栄養学専攻	専門教育	専任担当科目数（A）	4	9	16
			兼任担当科目数（B）	3	2	9
			専兼比率　％ （A／（A＋B）*100）	57.1	81.8	64.0
		教養教育	専任担当科目数（A）	3	0	7
			兼任担当科目数（B）	0	0	7
			専兼比率　％ （A／（A＋B）*100）	100.0	－	50.0
国際文化学科		専門教育	専任担当科目数（A）	6.3	0	25.3
			兼任担当科目数（B）	0.7	0	11.7
			専兼比率　％ （A／（A＋B）*100）	90.0	－	68.4
		教養教育	専任担当科目数（A）	0	0	1
			兼任担当科目数（B）	0	0	3
			専兼比率　％ （A／（A＋B）*100）	－	－	25.0

［注］１　ここでいう「専任担当科目数」 には、他学科・専攻科・研究所等の専任教員による兼担科目も含めてください。

２　「専門教育」欄および「教養教育」欄は、短期大学の設定する区分に応じて名称を記入してください。
その場合であっても、おおよそ専門教育的な教育と教養的な教育に分けて記入してください。

３　セメスター制を採用しており、各学期ごとの状況に差がある場合はそれぞれの学期について作表してください。

４　同一科目を週２回実施している場合のカウント方法は、
①同一講師よる場合→専任教員が担当した場合は専任担当科目数１、兼任教員が担当した場合は兼任担当科目数１となります。
②複数教員による場合→専任教員が担当した場合は専任担当科目数１、専任教員と兼任教員がそれぞれ担当した場合は、専任担当科目数0.5、兼任担当科目数0.5となります。

５　実験・実習等において兼任教員を含む複数の教員が担当する場合は、人数比による数値を記入してください。
（例：専任４人、兼任１人で担当した場合は、専任0.8、兼任0.2となります）

２　国家試験・資格試験合格率

（表３）

該当なし

３　単位互換協定に基づく単位認定の状況

（表４）

学　　科		認定者数（A）	他短期大学 認定単位総数（B）		大学 認定単位総数（C）		１人あたり平均認定単位数（B＋C）／A
			専門科目	専門以外	専門科目	専門以外	
生活科学科	生活科学専攻	12	0	0	112	10	10.2
	食物栄養学専攻	0	0	0	0	0	－
	計	12	0	0	112	10	10.2
国際文化学科		7	0	0	32	2	4.9
合　　計		19	0	0	144	12	8.2

［注］１　他短期大学または大学との単位互換協定に基づき単位認定を行っているものを記入してください。
２　併設大学との単位互換も含めてください。
３　2006年度の実績を記入してください。

4　卒業判定

（表５）

学　　科		2004年度			2005年度			2006年度		
		卒業予定者（A）	合格者（B）	合格率(%) B/A*100	卒業予定者（A）	合格者（B）	合格率(%) B/A*100	卒業予定者（A）	合格者（B）	合格率(%) B/A*100
生活科学科	生活科学専攻	30	27	90.0%	33	31	93.9%	29	25	86.2%
	食物栄養学専攻	30	29	96.7%	26	24	92.3%	27	27	100.0%
	計	60	56	93.3%	59	55	93.2%	56	52	92.9%
国際文化学科		50	48	96.0%	55	54	98.2%	55	55	100.0%
計		110	104	94.5%	114	109	95.6%	111	107	96.4%

［注］　１　「卒業予定者」とは、毎年度５月１日における当該学科の最終学年に在籍する学生を指します。
　　２　セメスター制の場合、年度でまとめてください。
　　３　専攻科では、「合格者」欄において（　）内に学位取得者数を内数で記入してください。また、「合格率(%)」欄における（　）内に学位取得率を記入してください。

5　就職・進学状況

（表６）

学　　科	進　　路		2004年度	2005年度	2006年度
生活科学科	就職	民間企業	24	27	21
		官公庁	1	1	0
		栄養士等専門職	12	9	9
		上記以外	4	7	6
	進学	併設大学編入	2	3	5
		他大学編入	3	1	5
		専攻科	1	0	0
		上記以外	1	1	1
	そ　の　他		8	6	5
	合　　計		56	55	52
国際文化学科	就職	民間企業	18	32	27
		官公庁	0	2	1
		上記以外	0	1	5
	進学	併設大学編入	6	4	3
		他大学編入	5	6	8
		専攻科	0	0	0
		上記以外	6	4	4
	そ　の　他		13	5	7
	合　　計		48	54	55

［注］　１　「その他」欄には、当該学科の各年度の卒業者のうち、就職、進学のいずれにも該当しないもののすべての数を記入してください。

２　（Ａ）の欄には、看護師や栄養士等、有資格の職業を記入してください。学科や専攻科の特性に応じて自由に欄を増やし、特にない場合はこの欄を削除してください。

6　国別国際交流協定締結先機関

（表７）

国　名 短期大学・学科 専攻科・研究所等	アメリカ合衆国	中華人民共和国	大韓民国	合計
短期大学部 （岩手県立大学全体として締結）	1	2	2	5

［注］短期大学・学科・専攻科・研究所等ごとに国別に交流協定締結機関数を記入してください。

Ⅲ　学生の受け入れ

1　学科・専攻科の志願者・合格者・入学者数の推移

（表８）

		入試の種類		2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度
生活科学科	生活科学専攻	一般入試	志願者	67	48	55	66	32
			合格者	25	26	24	25	24
			入学者	20	22	21	23	21
			入学定員	17	17	17	17	17
		公募推薦入試	志願者	10	10	18	12	8
			合格者	9	10	8	8	8
			入学者	9	10	8	8	8
			入学定員	8	8	8	8	8
	食物栄養学専攻	一般入試	志願者	117	113	115	91	87
			合格者	26	24	23	25	29
			入学者	22	17	17	21	19
			入学定員	17	17	17	17	17
		公募推薦入試	志願者	31	29	26	27	28
			合格者	8	9	9	8	8
			入学者	8	9	9	8	8
			入学定員	8	8	8	8	8
	学科合計		志願者	225	200	214	196	155
			合格者	68	69	64	66	69
			入学者（A）	59	58	55	60	56
			入学定員（B）	50	50	50	50	50
			A/B	1.2	1.2	1.1	1.2	1.1

		入試の種類		2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度
国際文化学科		一般入試	志願者	185	146	129	126	153
			合格者	51	53	53	55	46
			入学者	35	40	39	45	28
			入学定員	35	35	35	35	30
		公募推薦入試 (2007年度は推薦入学(一般)の数値)	志願者	17	22	26	14	28
			合格者	17	16	16	14	18
			入学者	17	16	16	14	18
			入学定員	15	15	15	15	15
		公募推薦入試 (2007年度は推薦入学(特別)の数値)	志願者					5
			合格者					4
			入学者					4
			入学定員					5
		その他（社会人）	志願者					1
			合格者					1
			入学者					1
			入学定員					若干名
	学科合計		志願者	202	168	155	140	187
			合格者	68	69	69	69	69
			入学者（A）	52	56	55	59	51
			入学定員（B）	50	50	50	50	50
			A/B	1.0	1.1	1.1	1.2	1.0
短期大学合計			志願者	427	368	369	336	342
			合格者	136	138	133	135	138
			入学者（A）	111	114	110	119	107
			入学定員（B）	100	100	100	100	100
			A/B	1.1	1.1	1.1	1.2	1.1

［注］ 1 「その他」欄には社会人、外国人留学生、帰国生徒に対する入試等についてまとめて記入してください。
ただし、上記の表に該当しない推薦入試を実施している場合は、「その他の推薦入試」欄を設けて作表してください。また、それ以外に相当数の学生を入学させている入試方法がある場合は、「その他」に含めず適宜欄を設けて記入してください。なお、該当しない入試方法の欄は削除してください。

2 セメスター制の採用により、秋学期入学など、年に複数回の入学時期を設定している場合は、それぞれの学期について作表してください。

3 学科・専攻科が複数専攻で構成されている場合は、「学科合計」欄・「専攻科合計」欄を設けて各学科の「合計」欄の総数を「志願者」「合格者」「入学者」「入学定員」ごとに記入してください。また、複数学科を設置している短期大学の場合は、「短期大学合計」欄を設け、同様に記入してください。なお、入試の種類ごとには分けなくても構いません。

２　学科・専攻科の学生定員及び在籍学生数

（表９）

学科・専攻科	専　　攻	入学定員	収容定員（A）	在籍学生総数（B）	B／A	在籍学生数 第１年次 学生数（C）	第１年次 留年者数（内数）（D）	第１年次 留年率 D/C（%）	第２年次 学生数（C）	第２年次 留年者数（内数）（D）	第２年次 留年率 D/C（%）	備　　考
生活科学科	生活科学専攻	25	50	60	1.20	29	0	0.00	31	0	0.00	
	食物栄養学専攻	25	50	56	1.12	27	0	0.00	29	0	0.00	
	計	50	100	116	1.16	56	0	0.00	60	0	0.00	
国際文化学科		50	100	108	1.08	51	0	0.00	57	0	0.00	
合　　計		100	200	224	1.12	107	0	0.00	117	0	0.00	

［注］１　昼夜開講制をとっている学科については、昼間主コースと夜間主コースにそれぞれ分けて記入してください。
２　現在の在籍学生に関わる入学定員に変更があった場合には、備考欄に注記してください。
３　３年制の場合には、第３年次まで作成してください。
４　「Ｂ／Ａ」欄については、小数点以下第３位を四捨五入し、小数点以下第２位まで表示してください。
５　通信教育課程、別科等についても学科の表に準じて作成してください。

３　学科の入学者の構成

（表10）

学　　科	専　攻		入　学　者　数					備　　考
			一般入試	公募推薦入試（推薦入学（一般））	公募推薦入試（推薦入学（特別））	その他（社会人）	計	
生活科学科	生活科学専攻	入学定員	17	8			25	
		入学者数	21	8			29	
		計に対する割合	72.4%	27.6%			100.0%	
	食物栄養学専攻	入学定員	17	8			25	
		入学者数	19	8			27	
		計に対する割合	70.4%	29.6%			100.0%	
	計	入学定員	34	16			50	
		入学者数	40	16			56	
		計に対する割合	71.4%	28.6%			100.0%	
国際文化学科		入学定員	30	15	5	0	50	
		入学者数	28	18	4	1	51	社会人入試１名
		計に対する割合	54.9%	35.3%	7.8%	2.0%	100.0%	
合　　計		入学定員	64	31	5	0	100	
		入学者数	68	34	4	1	107	
		計に対する割合	63.6%	31.8%	3.7%	0.9%	100.0%	

［注］　１　入試の種類については、「Ⅲ　１　学科・専攻科の志願者・合格者・入学者数の推移」（表８）と同様の区分で作成してください。
２　各学科および合計欄の下段には全入学者数に対する割合を記入してください。
３　セメスター制の採用により、秋学期入学など、年に複数回の入学時期を設定している場合は、それぞれの学期について作表してください。
４　各入学定員が若干名の場合は「０」として記入してください。
５　「その他」の入試による内訳を、備考欄に記入してください。（例：社会人入試○名、外国人留学生入試△名）

4　学科・専攻科の社会人学生・留学生・帰国生徒数

（表11）

学　　科	専　　攻	社会人学生数	留学生数	帰国生徒数
生活科学科	生活科学専攻	0	0	0
	食物栄養学専攻	0	0	0
	計	0	0	0
国際文化学科		1	0	0
合　　計		1	0	0

［注］　社会人、留学生、帰国生徒としてここに挙げるのは、一般の学生を対象とした入試とは別にそれぞれの入試によって入学させた学生をいいます。科目等履修生、聴講生、交換留学生は含めません。

5　学科の退学者数

（表12）

学　　科	専　攻	2004年度				2005年度				2006年度			
		１年次	２年次	合計	退学率（%）	１年次	２年次	合計	退学率（%）	１年次	２年次	合計	退学率（%）
生活科学科	生活科学専攻	0	2	2	3.2	2	0	2	3.2	0	4	4	6.7
	食物栄養学専攻	0	1	1	1.8	0	1	1	1.9	0	0	0	0.0
	計	0	3	3	2.5	2	1	3	2.6	0	4	4	3.5
国際文化学科		1	2	3	2.8	0	1	1	0.9	2	0	2	1.9
合　　計		1	5	6	2.7	2	2	4	1.8	2	4	6	2.7

［注］　退学率は、各年５月１日現在の在籍学生数に対する当該年度中の退学者の割合を出してください。（退学者数には、除籍者も含めます。）

Ⅳ　学生生活

1　生活相談室利用状況

（表13）

施設の名称	専任スタッフ数	非常勤スタッフ数	週当たり開室日数	年間開室日数	開室時間	年間相談件数			備　考
						2004年度	2005年度	2006年度	
健康サポートセンター	2	1	5	250	8：30～17：00	283	252	252	専任：医師,保健師 非常勤：看護師
学生相談室	0	9	5	250	8：30～17：00	17	31	13	非常勤：臨床心理士（1名） 教員（医師、臨床心理士、助産師、保健師等）が学生相談兼務：8名

［注］　専任、非常勤ごとに、スタッフの種類（医師、資格を持ったカウンセラー、教員、職員等）を備考欄に記入してください。

２　奨学金給付・貸与状況

（表14）

奨学金の名称	学内・学外の別	給付・貸与の別	支給対象学生数（A）	在籍学生総数（B）	在籍学生数に対する比率 A／B*100	支給総額（C）	１件あたり支給額 C／A
小林美代先生育英奨学金	学内	給付	12	230	5.2	4,320,000	360,000
岩手県立大学学業奨励金	学内	貸与	2	230	0.9	960,000	480,000
日本学生支援機構奨学金	学外	貸与	108	230	47.0	84,490,000	782,315

［注］　2006年度実績をもとに作表してください。

3　産学官連携による研究活動状況

（表17）

学科・専攻科等		2004年度		2005年度		2006年度	
		共同研究の件数	受託研究の件数	共同研究の件数	受託研究の件数	共同研究の件数	受託研究の件数
生活科学科	新規	0	1	1	1	2	1
	継続	0	0	0	0	0	0
国際文化学科	新規	0	0	0	0	0	0
	継続	0	0	0	0	0	0
計	新規	0	1	1	1	2	1
	継続	0	0	0	0	0	0

［注］1　教員が専任として配置されている学科、専攻科等ごとに記入してください。

2　本表における「共同研究」とは、民間企業等から研究者と研究経費を受け入れて、短期大学の教育研究職員と共通の課題について共同で行う研究を指します。学内共同研究は含めないでください。また、「受託研究」とは、民間企業、自治体等からの受託に基づき、専ら大学の教育研究職員が行う研究を指します。

3　複数年にわたる研究については、初年度を「新規」欄に、次年度以降を「継続」欄に記入してください。

4　科研費、事業団特別補助、奨学寄附金は含めません。

4　教員研究費

（表18）

学科・専攻科等	研究費の内訳		2004年度 研究費（円）	2004年度 研究費総額に対する割合（%）	2004年度 教員１人あたりの額	2005年度 研究費（円）	2005年度 研究費総額に対する割合（%）	2005年度 教員１人あたりの額	2006年度 研究費（円）	2006年度 研究費総額に対する割合（%）	2006年度 教員１人あたりの額
生活科学科	研究費総額		21,237,650	100.0%	1,327,353	20,701,705	100.0%	1,380,114	20,769,900	100.0%	1,298,119
	学内	経常研究費（教員当り積算校費総額）	15,306,000	72.1%	956,625	15,500,000	74.9%	1,033,333	9,826,500	47.3%	614,156
	学内	学内共同研究費	4,935,000	23.2%	308,438	2,855,910	13.8%	190,394	4,095,400	19.7%	255,963
	学外	科学研究費補助金	500,000	2.4%	31,250	200,000	1.0%	13,333	0	－	0
	学外	政府もしくは政府関連法人からの研究助成金	0	－	0	0	－	0	0	－	0
	学外	民間の研究助成財団等からの研究助成金	0	－	0	700,000	3.4%	46,667	0	－	0
	学外	奨学寄附金	0	－	0	299,145	1.4%	19,943	315,000	1.5%	19,688
	学外	受託研究費	496,650	2.3%	31,041	496,650	2.4%	33,110	6,033,000	29.0%	377,063
	学外	共同研究費	0	－	0	650,000	3.1%	43,333	500,000	2.4%	31,250
	学外	その他	0	－	0	0	－	0	0	－	0
国際文化学科	研究費総額		11,307,000	100.0%	1,027,909	16,487,940	100.0%	1,373,995	12,632,860	100.0%	1,052,738
	学内	経常研究費（教員当り積算校費総額）	10,507,000	92.9%	955,182	13,200,000	80.1%	1,100,000	8,397,500	66.5%	699,792
	学内	学内共同研究費	0	－	0	1,787,940	10.8%	148,995	2,035,360	16.1%	169,613
	学外	科学研究費補助金	800,000	7.1%	72,727	1,500,000	9.1%	125,000	2,200,000	17.4%	183,333
	学外	政府もしくは政府関連法人からの研究助成金	0	－	0	0	－	0	0	－	0
	学外	民間の研究助成財団等からの研究助成金	0	－	0	0	－	0	0	－	0
	学外	奨学寄附金	0	－	0	0	－	0	0	－	0
	学外	受託研究費	0	－	0	0	－	0	0	－	0
	学外	共同研究費	0	－	0	0	－	0	0	－	0
	学外	その他	0	－	0	0	－	0	0	－	0

※「教員１人あたりの額」は、助手を含めた教員数により算出した。

［注］１　研究費総額には、講座研究費、個人研究費等の名称は問わず、教員個人が専らその研究の用に充てるために支給される経常的経費（図書購入費、機器備品費、研究用消耗品費、アルバイトなどへの謝金等）を記入し、旅費も含めてください。

２　「学内共同研究費」は競争的な共同研究費に限ります。

３　「その他」の学外研究費には、科研費以外の政府もしくは政府関連法人からの研究助成金、民間の研究助成財団等からの研究助成金、奨学寄付金、受託研究費、共同研究費などが該当します。

5　科学研究費の採択状況

（表19）

学科・専攻科等	科　学　研　究　費								
	2004年度			2005年度			2006年度		
	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A*100	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A*100	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A*100
生活科学科	7	0	0.0	7	0	0.0	4	0	0.0
国際文化学科	8	1	12.5	3	1	33.3	2	1	50.0
計	15	1	6.7	10	1	10.0	6	1	16.7

［注］　1　採択件数には、当該年度新規に採択された件数のみをあげ、前年度からの継続分は含めないでください。
　　2　ここでは、文部科学省の科学研究費を指します。

6　教員研究室

（表20）

学　科 専攻科	室　　数			総面積 （㎡）	1室あたりの平均面積（㎡）		専任教員数 （B）	個室率(%) (A/B*100)	教員1人あたりの平均面積 （㎡）	備　考
	個室(A)	共 同	計		個 室	共 同				
生活科学科・ 国際文化学科	29	4	33	953.6	28.9	28.8	25	100	38.1	
計	29	4	33	953.6	28.9	28.8	25	100	38.1	

［注］ 1　「室数」、「総面積」欄には、学科、専攻科等の保有する全ての教員研究室についてこれを記入してください。
2　「1室あたりの平均面積」は全ての教員研究室について、「教員1人当たりの平均面積」は、学科、専攻科等の専任教員が実際に使用している教員研究室について、「Ⅶ　1　全学の教員組織」（表22）の専任教員数により算出してください。
3　「個室率」の算出にあたっては、個室数が専任教員数を上回る場合は、原則として 100%と記入してください。
4　個室を持たない教員については、「備考」欄にその数を記入してください。

Ⅵ　社会貢献

7　公開講座の開設状況

（表21）

短期大学 学科 専攻科	年間開設講座数			1講座あたりの 平均受講者数			備　考
	2004年度	2005年度	2006年度	2004年度	2005年度	2006年度	
盛岡短期大学部	1	1	1	59	28	108	岩手県立大学全体として開催した公開講座のうち盛岡短期大学部教員が担当した講座

［注］1　シンポジウム、講演会は含みません。
　　2　併設大学と共催の場合は、備考欄にその旨明記してください。

Ⅶ　教員組織

1　全学の教員組織

（表22）

学科、専攻科、研究所等		専任教員数					設置基準上必要専任教員数	専任教員１人あたりの在籍学生数（表９（B）/（A））	特任教員等（外数）	兼担教員数					兼任教員数	備考
		教授	准教授	講師	助教	計（A）				教授	准教授	講師	助教	計		
生活科学科	生活科学専攻	1	4	1	0	6	4	10.0	0	0	0	0	0	0	38	
	食物栄養学専攻	2	4	1	0	7	4	8.0	0	0	0	0	0	0		助手2
	計	3	8	2	0	13	8	8.9	0	0	0	0	0	0		
国際文化学科		4	4	4	0	12	5	9.0	0	0	0	0	0	0	29	
短期大学全体の収容定員に応じ定める専任教員数							3									
合　計		7	12	6	0	25	16		0	0	0	0	0	0	67	

［注］　1　教員については、学科・専攻科・研究所等、各所属組織ごとに記載してください。
2　教養教育科目、外国語科目、保健体育科目、教職科目等を担当する独立の組織がある場合には、「(その他の組織)」欄にその名称を記載してください。
3　専任とは、常勤する者をいい、兼任とは、学外からの兼務者をいいます。また、併設大学からの兼務者も兼任教員に含めてください。
4　客員教授、特任教授及びこれに準じる者については、専任者（研究条件等において専任教員と同等の者）のみを「専任教員数」欄の「教授」、「准教授」、「講師」、「助教」の該当する欄に含めて記入し、それ以外の特任者等については「特任教員（外数）」欄にその数を記入してください。
5　専任教員数の計（A）欄には、教授、准教授、講師、助教の合計数を記入してください。
6　助手やティーチングアシスタント・リサーチアシスタントがいる場合は、「備考」欄にそのおのおのの名称と人数を記入してください。
7　専攻科に専任教員が配置され、学科教育が専ら兼担によって行われている場合は、「兼担教員」欄に該当する教員の数を記入し、「専任教員１人あたりの在籍学生数」の算出は、その兼担教員数によって行ってください。またその場合、他学科・他専攻科等からの兼担者は「兼担教員」欄に含めないでください。
8　同一の兼任教員が複数の学科を担当する場合は、それぞれカウントしてください（重複可）。もしくは、短期大学の状況によっては、兼任教員数の欄は専攻ごとではなく学科全体で記入しても構いません。
9　同一の専任教員が複数の学部を担当する場合は、本務以外の学科の兼担教員欄にそれぞれカウントしてください（重複可）。もしくは、短期大学の状況によっては、兼担教員数の欄は専攻ごとではなく学科全体で記入しても構いません。

3　専任教員年齢構成

（表24）

学科・専攻科	職位	71歳以上	66歳～70歳	61歳～65歳	56歳～60歳	51歳～55歳	46歳～50歳	41歳～45歳	36歳～40歳	31歳～35歳	26歳～30歳	計
生活科学科	教　授		0	1	1	1	0	0	0	0	0	3
			0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	准教授		0	0	2	3	1	0	2	0	0	8
			0.0%	0.0%	25.0%	37.5%	12.5%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	100%
	講　師		0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	助　教		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	－
合　　計			0	1	3	4	1	2	2	0	0	13
			0.0%	7.7%	23.1%	30.8%	7.7%	15.4%	15.4%	0.0%	0.0%	100%
定年　　65才												

学科・専攻科	職位	71歳以上	66歳～70歳	61歳～65歳	56歳～60歳	51歳～55歳	46歳～50歳	41歳～45歳	36歳～40歳	31歳～35歳	26歳～30歳	計
国際文化学科	教　授		0	0	2	2	0	0	0	0	0	4
			0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	准教授		0	0	0	0	2	1	1	0	0	4
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	100%
	講　師		0	0	0	0	1	0	1	2	0	4
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	50.0%	0.0%	100%
	助　教		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	－
合　　計			0	0	2	2	3	1	2	2	0	12
			0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	25.0%	8.3%	16.7%	16.7%	0.0%	100%
定年　　65才												

［注］1　「Ⅶ　1　全学の教員組織」（表22）中、学科、専攻科（及びその他の組織）に記載の専任教員について、所属組織ごとに教員数が一致するよう作成してください。ただし、教養教育担当者が学科に分属しているものの教養教育は全学共通で行っている場合は、その教員数を学科から除き、教養教育担当者の表を学科に準じて別個に作成してください。

2　各欄の下段にはそれぞれ「計」欄の数値に対する割合を記入してください。

4　専任教員の担当授業時間　　（前　期）

（表25）

生活科学科（13人）

区分＼教員	教　授	准教授	講　師	助　教	備　考
最　高	9.5 授業時間	15.0 授業時間	11.0 授業時間		1授業時間　45　分
最　低	4.7 授業時間	7.7 授業時間	9.0 授業時間		
平　均	6.8 授業時間	10.6 授業時間	10.0 授業時間		

責任授業時間数					

国際文化学科（12人）

区分＼教員	教　授	准教授	講　師	助　教	備　考
最　高	6.7 授業時間	8.7 授業時間	8.0 授業時間		1授業時間　45　分
最　低	2.0 授業時間	6.0 授業時間	5.0 授業時間		
平　均	4.9 授業時間	7.6 授業時間	6.3 授業時間		

※教授の区分において、最低授業時間数の教員については、病気休暇から復職したため勤務を軽減しているものである。

責任授業時間数					

［注］ 1　「Ⅶ　1　全学の教員組織」（表22）中、学科、専攻科（及びその他の組織）に記載の専任教員について、所属組織ごとに教員数が一致するよう作成してください。

2　「Ⅶ　2　専任教員個別表」（表23）で算出した毎週授業時間数をもとに、専任教員が当該大学において担当する１週間の最高、最低及び総平均授業時間を記入してください。

3　「備考」欄に１授業時間が何分であるかを記入してください。（例：１コマ90分（２授業時間）の場合、１授業時間は45分）

4　専任の教授、准教授、講師、助教の１週間の責任授業時間数等の規定が無い場合は、「責任授業時間数」欄は空欄で構いません。

5　担当授業時間が特に多い教員、または特に少ない教員がいる場合は、その理由を欄外に付記してください。また、事情により授業を持っていない教員については計算の対象から外し、その理由を欄外に付記してください。

6　開設されてはいるものの、履修者のいない科目についても上表に含めてください。

4　専任教員の担当授業時間　　（後　期）

（表25）

生活科学科（13人）

区分＼教員	教　授	准教授	講　師	助　教	備　考
最　高	7.0 授業時間	10.0 授業時間	10.2 授業時間		1授業時間　45　分
最　低	4.0 授業時間	6.5 授業時間	8.5 授業時間		
平　均	5.3 授業時間	7.8 授業時間	9.4 授業時間		

責任授業時間数					

国際文化学科（12人）

区分＼教員	教　授	准教授	講　師	助　教	備　考
最　高	10.7 授業時間	8.7 授業時間	9.7 授業時間		1授業時間　45　分
最　低	8.0 授業時間	7.0 授業時間	8.0 授業時間		
平　均	9.0 授業時間	8.1 授業時間	8.7 授業時間		

※教授の区分において、最低授業時間数の教員については、病気休暇から復職したため勤務を軽減しているものである。

責任授業時間数					

［注］ 1　「Ⅶ　1　全学の教員組織」（表22）中、学科、専攻科（及びその他の組織）に記載の専任教員について、所属組織ごとに教員数が一致するよう作成してください。

2　「Ⅶ　2　専任教員個別表」（表23）で算出した毎週授業時間数をもとに、専任教員が当該大学において担当する１週間の最高、最低及び総平均授業時間を記入してください。

3　「備考」欄に１授業時間が何分であるかを記入してください。（例：１コマ90分（２授業時間）の場合、１授業時間は45分）

4　専任の教授、准教授、講師、助教の１週間の責任授業時間数等の規定が無い場合は、「責任授業時間数」欄は空欄で構いません。

5　担当授業時間が特に多い教員、または特に少ない教員がいる場合は、その理由を欄外に付記してください。また、事情により授業を持っていない教員については計算の対象から外し、その理由を欄外に付記してください。

6　開設されてはいるものの、履修者のいない科目についても上表に含めてください。

Ⅷ　施設・設備等

1　校地、校舎、講義室・演習室等の面積

（表27）

校　　地　・　校　　舎				講義室・演習室等	
校地面積（㎡）	設置基準上必要校地面積　（㎡）	校舎面積(㎡)	設置基準上必要校舎面積（㎡）	講義室・演習室・学生自習室総数	講義室・演習室・学生自習室総面積（㎡）
356,327㎡ （岩手県立大学（四年制）と共用）	2,000㎡	5,203㎡ （盛岡短期大学部専用部分のみ）	3,000㎡	9	443㎡

［注］1　校舎面積に算入できる施設としては、講義室、演習室、学生自習室、実験・実習室、研究室、図書館（書庫、閲覧室、事務室）、管理関係施設（学長室、応接室、事務室（含記録庫）、会議室、受付、守衛室、宿直室、倉庫）、学生集会所、食堂、廊下、便所などが挙げられます。

2　講堂を講義室に準じて使用している場合は「講義室・演習室・学生自習室」に含めても構いません。

2　学科・専攻科等ごとの講義室、演習室等の面積・規模

（表28）

学科・専攻科等	講義室・演習室 学生自習室等	室　数	総面積（㎡）	専用・共用の別	収容人員（総数）	学生総数	在籍学生１人あたり面積（㎡）	備　考
全学共通	講　義　室	3	205.6	共用	138	224	0.9	生活科学科・国際文化学科共用
	演　習　室	5	201.3	共用	100	224	0.9	〃
	学生自習室	1	36.0	共用	13	224	0.2	〃
	体　育　館	1	5,002.0	４大と共用				
	講　堂	1	781.1	４大と共用	664			

［注］　1　学科、専攻科ごとに記入してください。
2　当該施設を複数学科、併設大学等が共用している場合には、当該学科・専攻科専用の施設とは別個に記載し、「専用・共用の別」欄にその旨を明記するとともに、「学生総数」欄にも共用する学科、併設大学等の学生を含めた数値を記入してください。ただし、専攻科との共用関係については、ここには記入しないでください。したがって「在籍学生１人あたり面積」の算出にあたっても、専攻科学生数は除いてください。
また、「在籍学生１人あたり面積」の算出には、昼夜開講制の場合の夜間主コースの学生数や固有の施設を持たない夜間の学生数は含めないでください。
3　全学で全ての施設を共用している場合は、「学科・専攻科等」欄に「全学共通」と記入してください。
4　教養教育のための専用施設がある場合は、学科に準じて記入してください。
5　「在籍学生１人あたり面積」は、小数点第３位を四捨五入し、小数点第２位まで表示してください。
6　語学学習施設・情報処理学習施設、ビデオ・オーディオルームその他の視聴覚教室施設等も、ここに記入してください。
7　実験・実習室の主な設備・機器の設置とその更新状況については、点検・評価報告書に記入してください。

３　規模別講義室・演習室使用状況一覧表

（表29）

学　科　名	収 容 人 員	使用教室数	総授業時数	使用度数	使用率（%）	備　　考
生活科学科	1　～　30	6	85	28	32.9	
	31　～　60	11		38	44.7	
	61　～　110	6		19	22.4	
計		23		85	100.0	
国際文化学科	1　～　30	5	64	23	35.9	
	31　～　60	8		10	15.6	
	61　～　110	8		31	48.4	
計		21		64	100.0	

［注］　１　原則として学科ごとに作成してください。
２　使用教室数は、当該学部の正規の授業として使用している教室数を指し、総授業時数とは、１週間の総授業科目のうち、講義室・演習室を使用する全ての授業科目数を示します。なお、使用率は、（使用度数／総授業時数）により算出します。
３　収容人員については、短期大学の実情に応じて適宜区分してください。

Ⅸ　図書館および図書・電子媒体

1　図書、資料の所蔵数

（表30）

図書館の名称	図書の冊数　（冊）		定期刊行物の種類（種類）		視聴覚資料の所蔵数（点数）	電子ジャーナルの種類（種類）	備　考
	図書の冊数	開架図書の冊数（内数）	内国書	外国書			
岩手県立大学 メディアセンター図書館	214,306	214,306	409種類	208種類	2,361種類	13種類	岩手県立大学（四年制）と共用
計	214,306	214,306	409種類	208種類	2,361種類	13種類	

［注］　1　雑誌等ですでに製本済のものは図書の冊数に加えても構いません。
　　2　視聴覚資料には、マイクロフィルム、マイクロフィッシュ、カセットテープ、ビデオテープ、ＣＤ・ＬＤ・ＤＶＤ、スライド、映画フィルム、ＣＤ－ＲＯＭ等を含めてください。
　　3　併設大学と共用の場合は備考欄にその旨明記してください。
　　4　視聴覚資料の所蔵数については、実数ではなくタイトル数を記入してください。

２　学生閲覧室等

（表31）

図書館の名称	学生閲覧室 座席数（A）	学生収容定員 （B）	収容定員に対する座席数の割合(%) A／B＊100	その他の学習室の座席数 （　　）	備　　考
岩手県立大学メディアセンター図書館	247	2,279	10.8	0	短期大学部学生　200 学部学生　1,840 大学院学生　239

［注］１　「学生収容定員」には、学科学生、専攻科学生、別科の学生収容定員のほか、当該施設を併設大学と共用している場合には、大学の学生収容定員もこの数に加え、備考欄に数の内訳を記入してください。

２　「その他の学習室」の具体的名称を「その他の学習室の座席数」欄の（　）内に記入してください。

３　図書館利用状況

（表32）

図書館の名称	専任 スタッフ数	非常勤 スタッフ数	年間 開館日数	開館時間	年間貸出し冊数			備　考
					2004年度	2005年度	2006年度	
岩手県立大学 メディアセンター 図書館	７（６）	０（０）	252日	月～金　9：00　～　21：00 土　　9：00　～　17：00	25,280冊	25,153冊	22,071冊	

［注］　１　スタッフ数は、専任、非常勤ごとに、司書の資格を有するものを（　）内に内数で記載してください。
　　２　年間利用者数・貸出し冊数には、学生および教職員の利用状況を指し、一般開放による地域住民等は含みません。

Ｘ　財　　務

１－１　消費収支計算書関係比率（法人全体のもの）　※私立短期大学のみ

（表33－1）

該当なし

１－２　消費収支計算書関係比率（私立短期大学単独のもの）　※私立短期大学のみ

（表33－2）

該当なし

２　貸借対照表関係比率（私立短期大学のみ）

（表34）

該当なし

XI　情報公開・説明責任

1　財政公開状況について

（表35）

		点検・評価報告書	学内広報誌	大学機関紙	財務状況に関する報告書	学内ＬＡＮ	ホームページ（Ｗｅｂ等）	その他（地独法第34条による公告・閲覧）	開示請求があれば対応する
教職員	財務状況			○		○	○	○	○
在学生	財務状況			○		○	○	○	○
卒業生	財務状況						○	○	○
保護者	財務状況			○			○	○	○
社会・一般（不特定多数）	財務状況			○			○	○	○
その他（　　）	財務状況								

［注］　1　本表については、私立短期大学は資金収支計算書（資金）・消費収支計算書（消費）・貸借対照表（貸借）について、公立短期大学は自大学の財務状況について、それぞれの情報公開の実施方法に関して、該当欄へ対象者ごとに○を付してください。

2　平成17年度決算について平成18年度中に公開した対象・方法をすべて記入してください。平成17年度決算の公開対象・方法が変更される予定の場合には、欄外に注記してください。なお、その場合、公開した時点で該当する資料を提出してください。

3　各対象者への財政公開を行っていないが開示請求があれば対応するという場合には、「開示請求があれば対応する」欄に○を付してください。

4　「その他」欄を利用して回答する場合は、カッコ内に具体的な名称を記入してください。

Ⅶ　教員組織

【平成20年度追加表】

1　全学の教員組織

（表22-2）

学科、専攻科、研究所等		専任教員数					設置基準上必要専任教員数	専任教員１人あたりの在籍学生数（表９（B）/（A））	特任教員等（外数）	兼担教員数					兼任教員数	併設大学からの兼任教員数（内数）	備考
		教授	准教授	講師	助教	計（A）				教授	准教授	講師	助教	計			
生活科学科	生活科学専攻	1	4	1	0	6	4	10.0	0	0	0	0	0	0	38	13	
	食物栄養学専攻	2	4	1	0	7	4	8.0	0	0	0	0	0	0			助手2
	計	3	8	2	0	13	8	8.9	0	0	0	0	0	0			
国際文化学科		4	4	4	0	12	5	9.0	0	0	0	0	0	0	29	15	
短期大学全体の収容定員に応じ定める専任教員数							3										
合　計		7	12	6	0	25	16		0	0	0	0	0	0	67	28	

［注］ 表22に、「併設大学からの兼任教員数」を追加してください。ここでは、兼任教員数のうち、併設大学に所属している教員数を内数で記入してください。

4　専任教員の担当授業時間　　（前　期）　　【平成20年度追加表】
（表25-2）

生活科学科（13人）

区分＼教員	教　授	准教授	講　師	助　教	備　考
最　高	9.5 授業時間	15.7 授業時間	11.0 授業時間		1授業時間　45　分
最　低	4.7 授業時間	8.4 授業時間	9.0 授業時間		
平　均	7.7 授業時間	11.0 授業時間	10.0 授業時間		

責任授業時間数					

国際文化学科（12人）

区分＼教員	教　授	准教授	講　師	助　教	備　考
最　高	6.7 授業時間	8.7 授業時間	8.0 授業時間		1授業時間　45　分
最　低	2.0 授業時間	6.0 授業時間	5.0 授業時間		
平　均	4.9 授業時間	7.6 授業時間	6.3 授業時間		

※教授の区分において、最低授業時間数の教員については、病気休暇から復職したため勤務を軽減しているものである。

責任授業時間数					

4　専任教員の担当授業時間　　（後　期）　　【平成20年度追加表】
（表25-2）

生活科学科（13人）

区分＼教員	教　授	准教授	講　師	助　教	備　考
最　高	7.0 授業時間	11.0 授業時間	10.2 授業時間		1授業時間　45　分
最　低	4.0 授業時間	7.0 授業時間	8.5 授業時間		
平　均	6.0 授業時間	8.7 授業時間	9.4 授業時間		

責任授業時間数					

国際文化学科（12人）

区分＼教員	教　授	准教授	講　師	助　教	備　考
最　高	10.7 授業時間	8.7 授業時間	9.7 授業時間		1授業時間　45　分
最　低	8.0 授業時間	7.0 授業時間	8.0 授業時間		
平　均	9.0 授業時間	8.1 授業時間	8.7 授業時間		

※教授の区分において、最低授業時間数の教員については、病気休暇から復職したため勤務を軽減しているものである。

責任授業時間数					

［注］　1　表25と同様の方法で、（表23－2）で算出した毎週授業時間数をもとに、専任教員が当該短期大学と併設大学において担当する１週間の最高、最低及び総平均授業時間を記入してください。